

ぎやらりー わ



NO.84

2018年10月号

編集・発行 NPO法人グループわ (水町亮治)
〒651-1106 神戸市北区しあわせの村1番16号

ホームページ <http://www.wa-net.jp>
TEL078-743-8101 FAX743-3830

●花の村内散歩
ダルマ菊

特集 1

わ フェスティバルイン 水博 10/7開催

入館者目標の500人超え達成!



事務所2階では木工グループ

水の科学博物館の芝生広場、シアターステージ、会議室、広間など、至る所でグループわと女学生(中・高・大学)が様々なパフォーマンスを繰り広げ、子供、若者と高齢者が一緒になって、元気に、楽しく、台風一過の秋の1日を満喫しました。本イベントは、水博運営の一端を担う「わ」の組織を上げて、多彩な活動チームが参加し、近隣の学校や地域の方々、協賛企業・団体9組織、マスコミ・公報のご協力も得るといふ、これまでにな

い大掛かりな企画でしたが、大過なく無事、終わることができました。特別参加の神戸山手女子中・高等学校マンドリン・ギター部と、甲南女子大学チアリーディング部に感謝いたします。また、「わ」の参加グループ各位、本部・部会・水博の応援スタッフ各位、部会・区会の呼びかけで参加いただいた皆さま、ご協力いただいた全ての皆さまに厚く御礼申し上げます。(担当:増井、安部)



ボランティアの
輪をひろげよう

84
号の
内容

わの 新規取組	わフェスティバルイン 水博, フレイル取組, 新舞2018	1-2面
環境部会紹介	各グループの取組と課題	4-7面
第15回総会	功労会員表彰	3面
活動レポート		8~9面
11~1月予定		8面
	カレッジだより, 学園祭	10面
	わだより, 救急ボランティア紹介	11面
	トピックス	12面

新たな取組 その2

「フレイルサポーター」 地域の健康づくりの手助け役に

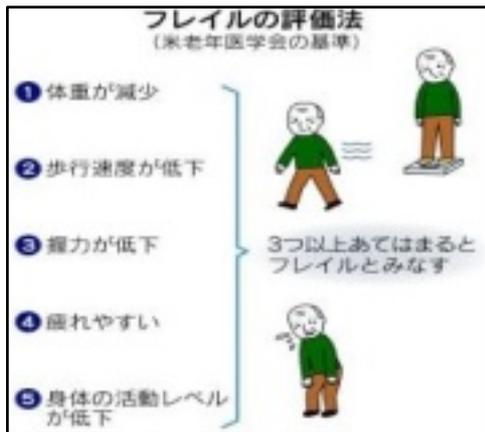
30名がフレイルサポーターに挑戦

神戸市保健福祉局からグループわ に対し、フレイルサポーター活動をしてみませんかとの誘いがありました。

神戸市は、他の政令市に比べ高齢化率が高く、ひとり暮らし高齢者が多い。また、介護保険の要支援認定を受けている高齢者の割合も高く、効果的な介護予防の取組みが課題になっています。

フレイルとは？

病気ではないけれど、年齢とともに筋力や心身の活力が低下し、介護が必要になりやすい健康と要介護の間の虚弱な状態のことを「フレイル」というそうです。



日本経済新聞より転載



10月16、17日には飯島勝矢先生を招いての講習会を受講。来月からは早くも実践開始です。

フレイル予防で
いきいきシニアライフを

フレイルサポーターとは？

フレイルであることを早めに気付いて適切な対策をとれば、元の状態に戻ることができる。高年齢者がフレイルチェックを気軽に受けていただけるよう、一定の研修を受けて地域の健康づくりの担い手となるのが、フレイルサポーターです。フレイル予防活動を通して社会参加することで、自らの健康寿命を延ばすことにもつながるとのことです。

その「フレイルサポーター」を今年度は、グループわ の新グループ「救急ボランティアOB会」（福祉部会所属）のメンバーを中心に30名でやっていくことになりました。

今後の取組についても、適宜お知らせしていきたいと思ひます。

（報告：副理事長 大槻 隆文）

新たな取組 その3

みなさん、神戸新舞（アライブ）というイベントをご存知ですか？

9月22、23日の両日、市内各会場でおこなわれ、神戸ぴかぴか隊が初めてボランティア参加しました。

神戸ぴかぴか隊

代表 今井晴美

「神戸ぴかぴか隊は今年初めて、Kobe ALIVE ～神戸新舞～に沿道整理のボランティアとして88名



迫力ある群舞

神戸新舞
2018

Kobe Alive

で参加しました。

このイベントはNPO法人 颯爽JAPANが、「心を揃えて踊る群舞に託して、神戸の新たな文化の創出と発展」を願って開催され、今年で11年目になります。

全国から集まったレベルの高い群舞は迫力があり感動しました。」



神戸ぴかぴか隊 当日朝の集合写真

（本ページの編集：浜田）

功労賞 個人8名と2団体を表彰 第15回定期総会

グループわの平成30年度功労賞に選ばれた個人8名・団体2グループが第15回定期総会で表彰されました。受賞者の喜びの言葉を前号に続きご紹介します。(順不同、敬称略)

- 会員表彰** ①坪井幸子(生環3期)前号掲載 ②中村吉宏(国際5期) ③森佳代子(生環6期)前号掲載
④西尾孟三(生環7期) ⑤佐伯義昭(国際8期) ⑥長谷川博(生環9期)
⑦土井昭政(国際10期)前号掲載 ⑧山田淑子(食文10期)前号掲載

- グループ表彰** ①神戸ぴかぴか隊(代表:今井晴美) ②書道部(代表:横田忠男)

継続は力なり

国際5期 中村 吉宏

この度、栄えあるグループわの賞を頂きありがとうございました。日頃何気なく続けておりましたボランティア活動を取り上げて、評価して頂いたものと信じます。振り返りみますに、卒業後約20年にわたり続けてまいりましたボランティア活動ですが、マジックの友愛訪問、震災館での外国人案内業務、かもめりあ施設での道案内にしましても、当人は相手の方、つまり訪問先の人、来客の反応である喜びを糧として長く継続してきたように思います。継続は力なりです。皆様も続けて居られますと、必ず周囲から評価されるものと信じます。



ボランティア活動での思い出

生環7期 西尾 孟三

表彰いただき、ボランティア活動を始めた頃のことを思い出しました。老人ホームから水族園に行く車いす介護要請があり、老人10人と職員4人が来られた。老人は全員車いす利用者。職員の方と一緒に介助しながら見学した。夜行性魚を見学するため地下の暗室に入った時に、私が担当していた方が暗くて何も見えないから怖いと言われ、明るい場所へと強く要請があり職員に連絡したところ、30分程すると皆さんも地上に出ますから上で待っていて下さいと言われた。地上に出ると同行者が居ないのでパニック状態になり、大声を出された30分は非常に長かった。経験不足で対応の未熟さを反省させられた。逆に、電車内で隣の車両から入ってきた男性が私の前に立ちニコリしているのです。よく見ると10年程前に係わっていたホームの利用者です。よく覚えてくれていたと嬉しくなりました。



老いも若きも「持ちつ持たれつ」

国際8期 佐伯 義昭

カレッジを卒業して〈わ〉に入り小学校の特別支援で活動しています。一日の時間割によって先生から「児童」「内容」などの支援依頼があり、彼らと接します。口には出しませんが「ありがとう」という感謝の気持ち湧いてきます。若い彼らと接することによって私の「ボケ防止」「健康づくり」「元気づくり」に役立っていると思うからです。帰る時に先生、児童から「ありがとうございました。さようなら」と別れの挨拶を頂いた時に、私も彼らに「さようなら、ありがとうございました。」と感謝のこぼれを返して帰ります。私は、世の中老いも若きも「持ちつ持たれつ」の志が大切だといつも思っています。



「再び学んで他の為に」を实践

生環9期 長谷川 博

シルバーカレッジ、グループわと続いた16年間は、年の差、学歴、職歴を問わない中でお互い協力しながら「再び学んで他の為に」を实践してきました。今後も仲間と地域の方々と一緒に模索しながら前に進めたいと思っています。最後になりましたがご協力頂き、応援して頂いた方々に深く感謝し、厚く御礼申し上げます。



更に大きくボランティア活動

神戸ぴかぴか隊代表 音文21期 今井 晴美

神戸ぴかぴか隊は、現役に引き続き多くの仲間が更に大きくボランティア活動の場を拓いているのが誇りです。神戸マラソンでは、目の前を駆け抜けていく神戸ぴかぴか隊のランナーに感動し、ルミナリエ及び1・17の集いでは震災被災者への鎮魂の想いを毎年新たに致します。今後も隊の設立理念の「楽しく 仲良く 元氣よく」をモットーに地域清掃・環境改善活動を続けて参ります。



書道ボランティアと生きがづくり

書道部代表 生環15期 横田 忠男

高齢者福祉施設の書道クラブには、100歳を超えた方も元気に活動されています。月に一度の練習日を心待ちにされ、半紙に向かって一点一画を丁寧に書かれている姿には、いつも敬服するばかりです。私も65歳で書道再デビューを果たして10年。これからも自己研鑽に努め、生きがづくりのお手伝いが出来ればと願っています。



環境部会

良好な自然環境を維持したい！！ 地球環境保全の大志を抱いて

各部会「多彩な交流活動の拡大」の特集は、環境部会（会長：奈島伴治・生20）の13グループです。ぎゃらりーわ編集部は9月19日定例ミーティングにお邪魔して部会の活動状況や今後の目標についてお聞きしました。それぞれのグループの今後の活動・方向と課題・最近頑張っていること・活動を始めようとしている若い人達に贈りたいメッセージ等について、コメントをいただきました。非常に活発で様々な活動が紹介されています。（編集・八木）



環境部会の組織と活動

13グループが連携して活動推進

- 1) **ビオトープの会**：会員23名で構成
活動内容・ビオトープ（自然の生態系）の保全、整備、周辺動植物調査、自然塾開催等啓発活動
- 2) **里山グループ**：会員35名で構成
活動内容・里山の保全（伐採）、整備、植樹・草木の名札付けの作業、自然塾開催等啓発活動
- 3) **ケナフの会**：会員67名で構成
活動内容・ケナフ紙すきをを通して地球温暖化防止を子供達に教える
- 4) **野鳥と自然観察会**：会員91名で構成
活動内容・野鳥や自然観察を通して野鳥保護や環境の保全に寄与する。
- 5) **花山梅林会**：会員34名で構成
活動内容・花山小通学路整備、裏山梅林保全拡充
- 6) **里山和楽会**：会員13名で構成
活動内容・里山林整備の仕方で再生活動、小学校の環境教育
- 7) **森の仲間**：会員38名で構成
活動内容・森林浴を通じ「元気なシニア」の輪を広げる
- 8) **神戸ぴかぴか隊**：会員176名で構成
活動内容・神戸市のイベントに参加、地域の環境改善・清掃等
- 9) **創エネ神戸**：会員8名で構成
活動内容・再生可能エネルギーの普及及び啓発活動
- 10) **愛Deer∞**：会員10名で構成
活動内容・ニホンジカを有効活用することを推進
- 11) **川づくり研究会**：会員9名で構成
活動内容・伊川の5箇所環境、生き物の定点観測
- 12) **フードドライブ**：会員7名で構成
活動内容・家庭からの食品ロスを回収、PR活動
- 13) **We love"もったいない"**：会員9名で構成
活動内容・KSC構内に古本古着の回収ボックスを設置

“それぞれのグループがたゆまぬ活動を楽しく継続していく”

環境部会は、地球環境の悪化・大気汚染の進行抑制という大志を抱いて、良好な自然環境を維持するという観点から、13グループがそれぞれたゆまぬ取り組みをしている。

年3回の環境部会代表者会議を通して、それぞれのグループの活動概況を報告し合い、グループわ本部運営委員会の決定事項を伝達し、それぞれのグループがその活動に参考にしていく。取り組みは地道だが、前向きに楽しく活動していくことを継続していきたい。

（会長 奈島伴治）

1) ビオトープの会の取組と課題

代表：奈島伴治

平成12年から活動を開始し、現在に至っている。現在の会員数は23名。毎月第1、第3木曜日を活動日とし、晴天・曇天の日はビオトープ内の雑草刈り、樹木の剪定、水生生物の調査（ザリガニの捕獲・駆除）、開



花する山野草・樹木の記録などを通じて、ビオトープの保全活動をしている。作業の合間の休憩時間は、楽しい話題が飛び交い、嬉しい交流の場となっている。雨天の日は、室内で会の課題等について話し合っている。

各グループの取組と課題

2) 里山グループ

代表：与茂田 正

私たち里山グループが活動しているシルバーカレッジ北側の林は、里山と呼ばれる雑木林です。主にコナラ林で覆われています。里山を保全する活動として、笹刈や蔓きりなどの作業です。林床の低木や笹が刈られ、林床が明るくなり、植物相調査をしたところ、絶滅危惧種であるハリマムシグサやムラサキなどの植物が生育していることがわかりました。

また、この林には、様々な植物・動物・野鳥・昆虫等が生育する場所となっています。

里山保全に関心のある方は、私たちと一緒に活動に参加してみませんか。



3) ケナフの会

代表 山口昭則

会員と「KSCケナフの会」の皆さんのご協力を得て、「夏休み紙すき出前教室」を計画通り終えることが出来ました。

今後の活動は、

1. 「KSCケナフの会」との「協働の更なる推進」を図ります。
2. 「会員間のコミュニケーションの更なる促進を図る」ため、「ケナフの会ニュースレター」を継続発行し、話題性のある内容になるように努めます。

3. 出前教室の内容を更に充実し、児童及び地域福祉センターの高齢の皆さんから元気をもらいます。

「ケナフの会」で楽しく元気に活動しましょう！



4) 野鳥と自然観察会

代表 堀池邦康

「しあわせの村を野鳥の楽園に」

以下の3本の柱を中心に諸活動を展開中。①会員の研修・親睦のため、毎月1回、探鳥会や自然観察会を開催。②巣箱管理・植樹管理等、野鳥保護のための活動。2018年度は巣箱43、樹木137本を管理。③自然環境保護を目的に、「しあわせの村いきもの会議」や「KSC野鳥と自然観察会」・「こうべ環境未来館」など他団体との交流や協力。しあわせの村のトコロジストを目指して活動継続。



5) 花山梅林会

代表 磯野彰夫

KSCの建学精神「再び学んで他のために」を、卒業後真面目に実践、地元の小学校の要望をキャッチ、周りの荒れた里山と通学路整備をスタート、やる気満々の若かりし会員の熱意で、神戸一の梅林を目指し、毎年6年生卒業記念植樹を経て、今や900本近い花山梅林に成長、児童の梅林観察や児童とPTAの梅採りとジュース、ジャム作りも恒例で、環境教育に貢献、地域

に呼び掛けて、寒い北区の時季をずらせた観梅会で、癒しの郷にも、花も実も楽しめ、特に最近の健康食品の優等生、梅食品、しかも全くの無農薬なので人気上昇、然るに立ち上げて早や13年、花も実

もある老後生活を楽しませてもらいましたが、さていずこも同じ高齢化問題、後を引き継いでくださる、少しでも若い人材を求めています。

“来たれ！花山梅林会へ！”



各グループの取組と課題

6) 里山和楽会

代表：道満俊徳

山好き・自然愛ある連中が集まり、里山林の活動は11年目を迎えている。当初15名多い時は25名だったが諸事情発生。現在11名で、月2回（催事は別）の活動を良き汗をかいて楽しんでいる。四季折々の変化、植物の凄い成長戦略、圧倒的な数量の土壌生物がまさに地球の掃除屋さんと変化に富んだ自然環境を身近に感じる里山整備保全活動は、当初平均64歳の仲間も75歳になった。

今後、自然環境は放置できな

い環境を小さな力・良き仲間で作業を大いに楽しみ、心豊かにさせてくれる活動を継続したい。

里山和楽会最大の課題：森林環境保持継承頂く方を歓迎。是非一緒に楽しみましょう。

追記：活動契機は平成19年4月、障害者施設「かがやきの森」（地図にはなく自称名）を整備再生・散策道設置・障害ある方の働く場所と森林浴の場など、多くの課題をお持ちの施設長からの依頼でした。



7) 森の仲間

代表：小泉 宏

2006年生環11期のグループ活動で発足しました。当初13名であった会員が現在は43名になりました。

活動の目的は森林浴を介して元気なシルバーの輪を広げることを目指しています。

森の中でフィトンチッドを浴び谷川のせせらぎと野鳥の声を聴きながら歩き心身のリフレッシュを図っています。活動のモットーは無理せず楽しく、歩行距離は約5km以内、標高差約300m以内を目安にしています。例会は月1回、バスツアーは年2回です。

最近の例会は7月度：奈良春日山原始林、10月度例会予定は曾爾高原バスツアーです。

今後の課題は、メンバーの若返りで、新入会員を求めます。



8) 神戸ぴかぴか隊

代表：今井晴美

ボランティア初心者が、地域の清掃などから気軽に始められるのが神戸ぴかぴか隊の活動です。殆どの隊員が、ここを導入口として様々なボランティア活動に発展させています。170余名を抱える当隊は、阪神淡路大震災1.17のつどいや神戸マラソンで、なくてはならない存在となっています。今年は新たに「KOBE ALIVE～神戸新舞～」の沿道整理に参加し、主催者の颯爽JAPAN様には大変感謝されました。今後も必要とされる場があれば、活動の場が広がるかと思えます。町なかで火ばさみ持ってゴミ拾い出来る気さくな人の集まり、神戸ぴかぴか隊が長く続きますよう無理のない活動をして参ります。



9) 創エネ神戸

代表：山田通裕

創エネ神戸は、地球温暖化防止のために、①再生可能エネルギーの普及活動 ②市民共同発電所のモデルとなる「カレッジ発電所」の実現 ③小学生や園児に環境教育・環境学習を行っています。2016年に、創エネ神戸が支援をして、西区のあさひ保育園が設置した太陽光発電が、カレッジ発電所第1号です。続けて第2号を目指して現在活動中です。

また、夏休み工作塾ではソーラーカーの工作を通じて小学生に環境教育を行っています。

課題は、活動メンバーの確保です。



10) 愛Deer∞

代表：置塩 豊

深刻なシカ被害対策として捕獲されたシカの有効活用を推進するために2016年から活動している。

主な活動は①有効活用の一環として鹿肉の普及のために手軽な鹿肉料理をイベント等で出店 ②家庭でも手軽にできる鹿肉料理教室の開催 ③シカの被害問題や有効活用のPR活動等を行っている。また④シカが生息しているあいな里山公園やしあわせの村、最近ではキーナの森周辺でシカを中心に自然観察会も実施している。

メンバーは現在11人で活動中。

課題は、①イベントでの出店に準備段階から労力が掛かり、出店の申し出に臨機応変の対応できないため、せっかくの機会を損失している。また②天候等の影響で中止時の損失も発生し対応に苦慮している。



11) 川づくり研究会

代表 野崎康夫

我々はカレッジのグループ学習で行った伊川の環境生きもの調査を1年で終わらせるべきでないと考え、調査を続けています。地味な活動ですが、網を持つと子供に返り何が獲れるか興味津々です。これまで見たことのない生きものに出会うと凶鑑と首っ引きで、生物多様性を実感しようと単調な流れに水制工を作り、ワンドの形成を試みているが大雨、台風で度々流され、新しい方法を模索中です。またアカミミガメの防除活動、有害外来種を駆除しています。



12) フードドライブ

代表 上利哲裕

我々メンバー7名は「表題」を活動スローガンに掲げカレッジ内で食品ロスを回収し、フードバンク関西を通じて、それを必要としている施設や団体に届ける活動を2年間継続して行ってきました。ようやく学生に毎月1日～10日の活動期間が定着し、毎回安定した量の食品を届けることが出来るようになってきました。

今後の課題は、カレッジ内に限らず他のグループや団体との連携で、イベントなどでのフードドライブ活動を活発化することです。まずは、フードドライブの認知度を高め市民権を得ることが我々の使命と位置付けています。



13) We love もったいない 代表 富川 修

今年4月、生環グループ学習のテーマ「古本募金をカレッジで」を実践するグループを立ち上げ、古着リサイクルを引継ぎました。学内2階に、フードバンクさんと共同運営の「もったいないコーナー」に古本と古着の回収ボックスを設置して、回収管理をしています。

古本は換金され、カレッジに募金、古着はNPO法人に寄附します。

古本は、これまでに約4千冊提供頂き、募金は5万円超えました。

課題は、各分野の広報活動の継続と活動領域の拡大です。



(本特集の編集：八木)

活動レポート

【文化部会】KSC茶道部同好会

◎古民家 内田家住宅で愛でる中秋の名月

清水裕太郎（食文21期）

9月24日（日）、約260年前に建てられた茅葺き民家「内田家住宅」において、神戸市教育委員会主催のお月見会が開催されました。

茶道部同好会から6名が参加して、抹茶を点てお客様をおもてなしする手伝いを行いました。

電気ポットやガス給湯器はなく、かまどに鍋を掛けてお湯を沸かします。いつもとは勝手が違います。

生憎、お月さんは雲に隠れ見えませんでした。すすきとお菓子を飾った縁側でお客様はくつろいだ様子でした。約70名の来客があり大盛況でした。



【いきがい部会】Wingペタンククラブ

◎ 秋季ミニペタンク大会

9月27日（木）Wingペタンククラブによる、秋季ミニペタンク大会が、しあわせの村球戯場で開催されました。朝に雨が止み、コンディションの悪い状態でしたが、20人が参加。1ブロックは（3人/チーム）4チーム、2ブロックは（2人/チーム）4チームがそれぞれ、競い合いました。



【文化部会】むかしあそび研究会

◎聖ミカエル幼稚園で昔遊び

小林 健二（生19期）

8月23日（木）、聖ミカエル幼稚園（北区南五葉）で可愛い園児と一緒に、あやとり、おはじき、わなげ、紙とんぼ等の昔遊びを楽しみました。

毎年夏休み行事の一つとして実施しており、この日も園児150人、保護者15人、先生5人、合計170人の大人数でしたが、保護者の方が先生と連携しながら良くサポートしてくださるので、我々は園児との遊びに集中して楽しく活動できました。最後に年長組さんから大きな歌声のプレゼントもいただきました。

（参加会員：18名）

実施した遊びは、ストローロケット、円盤ごま、あやとり、おはじき、はねがえる、紙とんぼ、わなげの7種類。おはじきコーナーの設営とストローロケットの制作は保護者の方が事前に行ってくださいました。



グループに関連 10月～12月スケジュール

・野鳥観察会	10/28(日)	しあわせの村
・親子で集まれ自然遊び塾	10/28(日)	しあわせの村
・秋の森林浴	11/ 5(日)	高砂の曾根
・しあわせの村開村30周年記念シンポジウム	11/8(木)	KSC
・こうべロハス広場	11/10(土)	しあわせの村
	11/11(日)	
・オープンキャンパス	11/16(金)19(月)、12/3(月)	

施設訪問等のイベント（本部事業担当）

・ぼー愛	11/1(木)12/6(木)	わらい届け隊
	11/2(金)11/16(金)12/7(金)	書道部
	11/8(木)12/13(木)	楽遊クラブ銀雅
	11/15(木)11/22(木)12/20(木)12/27(木)	太極拳ゆったり体操
・柏台パールクラブ	11/3(土)	KSC男声合唱団
・きらくえん	11/11(日)	混声合唱団コーロKSC

【東灘区会】

◎ケナフ紙すき

春日雅夫（生17期）

8月1日（水）本山東地域福祉センターで、学童のケナフ紙漉きを行いました。

参加した55名の子供たちには、栞づくりを体験してもらい出来上がった自慢の作品をお土産に持って帰ってもらいました。子供たちは、みんな真剣な眼差しで楽しそうでした。



◎住吉川親子水辺フェア

8月4日「住吉川清流の会」主催毎年夏休みに子供達に川と親しんでもらおうと、親子水辺フェアが開催されます。神戸市環境局の「水辺教室」、東灘消防署の「水のアーチ」、甲南大学生の「工作教室」そして、メイン・イベントの「金魚のすくいどり」には、1,000人の親子連れが参加しました。



子供たちと一緒に入った川の水の冷たさに、我々も生き返りました。

【灘区会】

◎公園と川が美しいわが街 道井 紅（健17期）

きれいな公園や川で子供たちが元気に遊ぶ、そんなシーンに思いを入れて街のクリーンアップと学習支援を二本柱に据え、ボランティア活動を押し進めている灘区会です。



毎月第3火曜日は灘区役所主催で、JR六甲道駅南側清掃活動が行われています。地域住民と一緒にKSC在校生卒業生、わ灘区会員が参加しての活動です。

また、神戸市民に愛されている灘区の中央を流れる都賀川も、年6回「都賀川を守る会」の人たちと一緒に灘区会員有志で清掃活動にも参加して楽しんでいます。

終わった後の汗と充実感が何よりの収穫です。学習支援は、青陽東養護学校、鶴甲小学校ともに週1回参加しています。これらの活動が更に裾野を広げ、厚みも増してくれることを願って頑張っている灘区会です。



【中央区会】

◎平成30年度中央区会員交流懇親会

島ノ江繁吉（生18期）

中央区会では今年5月約10年振りに区会総会を開催し、新たな気持ちで区会運営に取り組んでいます。

また、今年度はKSC22期卒5名の新会員も迎えて、総勢60名に及ぶ所帯にもなりました。

区会活動の最大の狙いは「地域住民及び会員同士との交流を深める」と云うことですが、日頃定例の「月例会」だけでは中々会員同士間の交流も疎遠になりがちなために、3年前から毎年7月に新会員の歓迎会を兼ねて「区会員交流懇談会」を定例化しました。今年7月7日（土）正午より「がんこ三宮店」で開催。ただ3日前から降り続いた大雨の影響で出席者は昨年より少ない19名で、新会員の方の出席もゼロと云う少し寂しい懇談会となりました。次回の懇談会は会の主旨がもっと会員間に浸透して出席者の記録更新を図りたいものです。



【西区会】

◎西区会活動状況

鈴木隆美（生18期）

西区会では、定期的に行っているボランティア活動として、川柳、書道、コーラス、社交ダンスでの高齢者支援、将棋での児童館活動支援、児童・園芸支援、体育館花壇支援を行っています。

区会を活性化させるために、会員の他に現役生に西区会日より、行事案内、を配布し周知しています

会員相互の親睦を深めるため、ウォーキング、バス旅行、花見会などを行っていますが、現役生への区会の認知を図る活動として、現役交流委員を介して、懇親忘年会を予定しています。



カレッジだより

第24回神戸市シルバーカレッジ学園祭



元気一杯
ステージ
演奏



グループ
わ を展示
パネルで
宣伝



「学園祭」

人の和

知恵の輪

心の絆

グループわも学園祭に参加

10月13日(土) 絶好の学園祭日和となりました。カレッジホール、ふれあいホール、中庭、教室ともカレッジ生、OB、ご家族など多数の参加で、交流の輪が広がりました。

同窓会展示会場も
久しぶりの交流に
賑わっていました



鹿肉の
山賊焼

おいしいねと好評でした



ミヤンマー珈琲
を囲んで、話が弾
んでいます



しあわせの村

開村30周年記念シンポジウム

この30年を振り返る !!

第1部

記念講演

「しあわせの村とこの30年」

日本生活史の中で

講師：田辺真人氏 園田学園女子大学名誉教授



☆とき 2018年11月8日(木)

13:00~16:20

☆ところ KSC カレッジホール

第2部

活動紹介と意見交換

「シルバーカレッジが開く

新しい世界」

発表者 島村千恵子氏(みんなの食堂「なかみち こみち」)
富川 修氏(WeLoveもったいない) 長濱速雄氏(神戸
シルバー大学院理事長) 大槻隆文氏(グループわ副理
事長) 重 真理子氏(神戸市市民参画推進局)
コーディネーター 服部祥子氏(KSC学長)

聴講申込み

至急お電話下さい☎

TEL. 078-743-8100

平日9時-17時 KSC事務局

わだより

新グループ紹介

「救急ボランティアしあわせOB会」

代表・北条佳代子

私たちは今春スタートしたグループです。次の2本柱で活動を進めます。

活動1

救急インストラクター

突然あなたの前で人が倒れたら、声をかけますか？すぐ119番通報することができますか？傷病者が発生したときに、その周りに居合わせた人が応急手当を速やかに行うと傷病者の治療経過により影響があり、救命率が向上します。私たちは、救急講習を受けこのような事態に対応できる、救急インストラクター（応急手当普及員）の認定を受け、市民救命士として地域での救急講習会で応急手当普及活動を行っています。



また、各地域のイベント会場で救護班活動も行っていきます。

活動2. フレイル予防サポーター

フレイル

(=虚弱)に

ならない、な

っても健康な状

態に戻るため

に重要な〔栄

養〕〔運動〕

〔社会参加〕

について学び、シニアライフのサポート活動を行っています。

☆〈わ〉の会員数 (9/30現在)

1,466名(内22期生154名)

☆水の科学博物館入場者数(同)

30,222人(年間目標66千人)

入場者数増にご協力をお願いします！！

全国シルバー合唱コンクール

KSC男声合唱団 銀賞に輝く！



9月14日、神戸文化ホール（大ホール）に全国から35団体が参加して行われた同コンクールで、KSC男声合唱団が見事銀賞を受賞しました。

演奏曲目は、①組曲「雪明りの路」の「春を待つ」 ②組曲「富士山」Ⅱ 作品第肆の2曲。学生代表の横山さんにお聞きしたところ、4月頃から本格的に合唱練習を開始、「楽譜通りに歌う」「響かせる」「感じたものを聴く人に届ける」「言葉の意味を考える」等、指導を受けながら練習を重ねてきたということでした。

お知らせ

場所
しあわせの村

平成30年11月10日(土) 出店: We love “もったいない”、
フードドライブ、ケナフの会

平成30年11月11日(日) 出店: ボランティア木エグループ、
さおり・たまも

もったいない ・手作りひろば

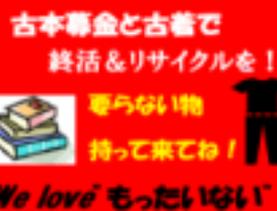
家族みんな
de
来てね

こっへ
ハスひろば
に参加
します

We love
“もったいない”
グループ

古本募金で支援
ネット検索
神戸市シルバーカレッジ古本募金

手作り品
を販売



手作り広場では
☆ボランティア
木エグループ
☆さおり・たまも
☆ケナフの会

編集後記

猛暑、豪雨、地震、台風と大変だった夏がやっと終わりました。初企画「水博フェスティバル」も台風25号が心配でしたが、好天に恵まれ本当に良かったです。参加の皆さま、おつかれさまでした。(浜田)

〈わ〉のホームページの充実に努めていますが、更新件数は今年目標420件を達成できそうです。また閲覧回数が千回を超え、月も多くなりました。さらに充実すべく、皆様からの活動情報をお待ちしています(才)

特集2は、環境部会の13グループです。それぞれのグループの今後の活動・方向と課題・最近頑張っている事・活動を始めようとしている若い人達に贈りたいメッセージ等について書いていただきました。非常に活発で様々な活動が紹介されています。(八木)

(本ページの編集: 浜田)

夏休み工作塾



👉 ソーラーカーレース決勝！
出来栄が気になる折り染め👈



好天の8月4日土曜日、しあわせの村研修館で、恒例の人気イベント「夏休み工作塾」を開催。約850名の親子が参加され、会場は大いに賑わいました。



☆イベント参加グループの皆さまおつかれさまでした！

- 「木エグループ」 「里山和楽会」
- 「むかしあそび研究会」 「ケナフの会」
- 「折り紙グループ悠々」 「創エネ神戸」
- 「里山グループ」 「花実の森」



親子カブトムシ生育観察会



7/22の第2回観察会。無事に育ったカブトムシ成虫を自分で掘り出して、持って帰ることができました。午後はクラフトも実施。



神戸新舞 2018

9/23元町大丸前会場。若さ溢れる熱演に沿道は盛り上がっていました。



「HP&動画サイト」でホットニュースを!!

皆さま、ご存知でしょうか？ グループわの活動を素早く知るためにはホームページが一番!! 区会や部会のホットニュースが満載です。活動を動画で紹介する動画サイトもぜひご覧ください。



GoogleやYahoo!の検索画面で「グループわ」と入力 ➡ グループわの見出しをクリック ➡ 上のHPが開きます！
スマホ、タブレットはQRコードから・

